

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



カンファレンスコール

2014年度 第3四半期決算（2014年4月1日～12月31日）

第一三共株式会社

説明者： 代表取締役副社長 管理本部長 坂井 学

開催日時： 2015年1月30日(金) 14:00～14:45

- ◆ **2014年度 第3四半期決算**
- ◆ **国内主要製品・主要ビジネスの状況**
- ◆ **特記事項**
 - **エドキサバンの現状について**
 - **研究開発パイプラインの進捗**
 - **事業運営体制最適化の結果**
 - **サン・ファーマ/ランバクシー合併の進捗**

連結業績の概要

(単位：億円)



連結業績

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	増減
売上収益	8,055	8,382	+4.1% +326
売上原価	2,765	2,916	+151
研究開発費	1,371	1,422	+51
販売費・一般管理費	2,867	2,941	+74
(資産関連費/ 事業再編損)	(98)	(152)	(+54)
営業利益	1,053	1,103	+4.7% +50
税引前利益	937	1,069	+14.2% +133
当期利益 (親会社帰属)	714	1,022	+43.1% +308

為替 レート	USD/円	99.39	106.88
	EUR/円	132.24	140.31
	INR/円	1.69	1.77

第一三共グループ

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	増減	年度計画
売上収益	6,738	6,944	+3.1% +206	9,000
売上原価	2,064	2,209	+145	2,800
研究開発費	1,304	1,357	+54	1,820
販売費・一般管理費	2,329	2,395	+66	3,380
(資産関連費/ 事業再編損)	(55)	(113)	(+58)	-
営業利益	1,041	983	-5.6% -59	1,000
税引前利益	1,074	1,058	-1.5% -17	1,000
当期利益 (親会社帰属)	771	678	-12.1% -93	650

*ランバクシーグループを含まない「第一三共グループ」の数字のみで公表しております。

売上収益増減

(単位:億円)

増収要因

減収要因



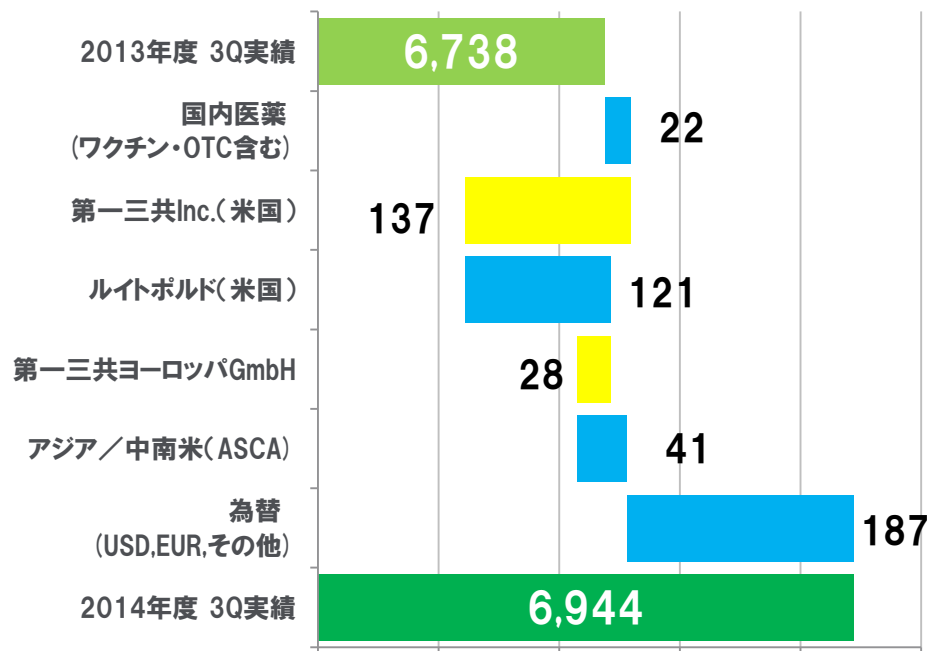
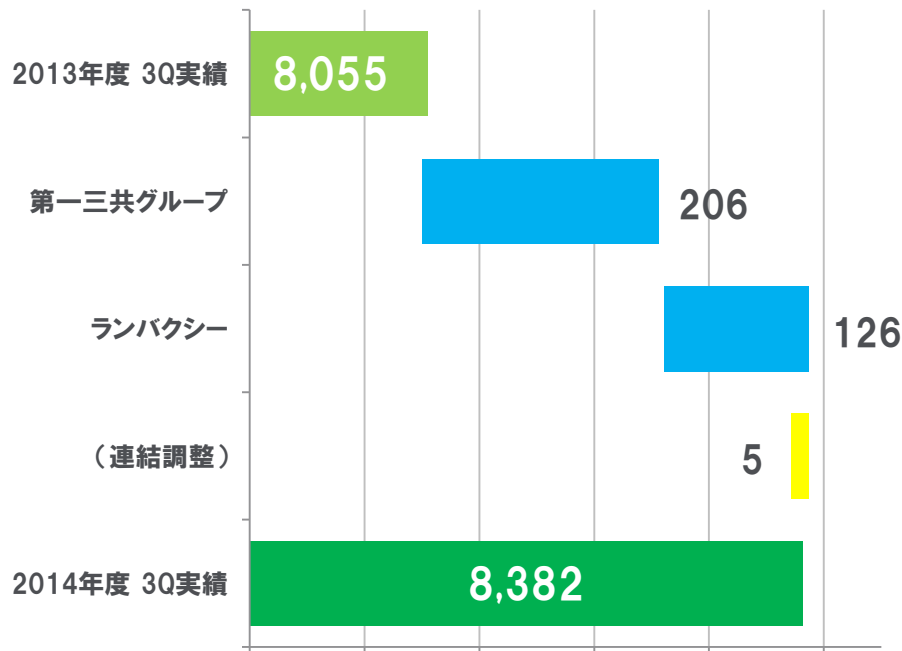
第一三共Inc.が減収の一方、ルイトポルド・ASCA地域の伸長と為替が寄与

連結業績

第一三共グループ

7,900 8,000 8,100 8,200 8,300 8,400

6,500 6,600 6,700 6,800 6,900 7,000



国内製品

増収: ネキシウム +155 メマリー +37 プラリア +34 イナビル +61
 減収: ロキシニン -82 クラビット -29 メパロチン -44 ワクチン事業 -58

海外製品(為替差含)

第一三共Inc.: オルメサルタン -85
 ルイトポルド: ヴェノファー +47、インジェクタファー +45
 第一三共ヨーロッパ: オルメサルタン +3

営業利益増減

(単位:億円)

増益要因

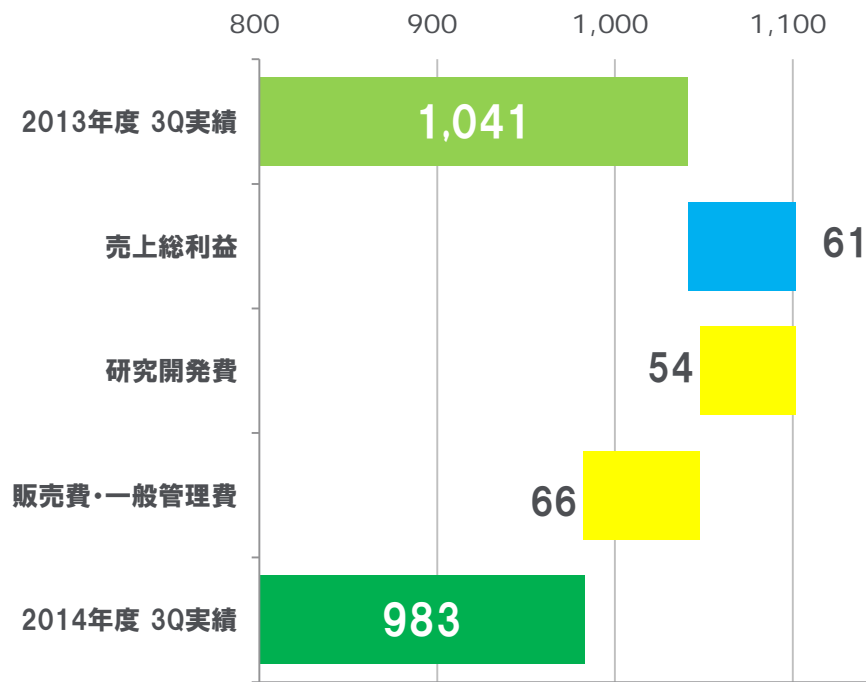
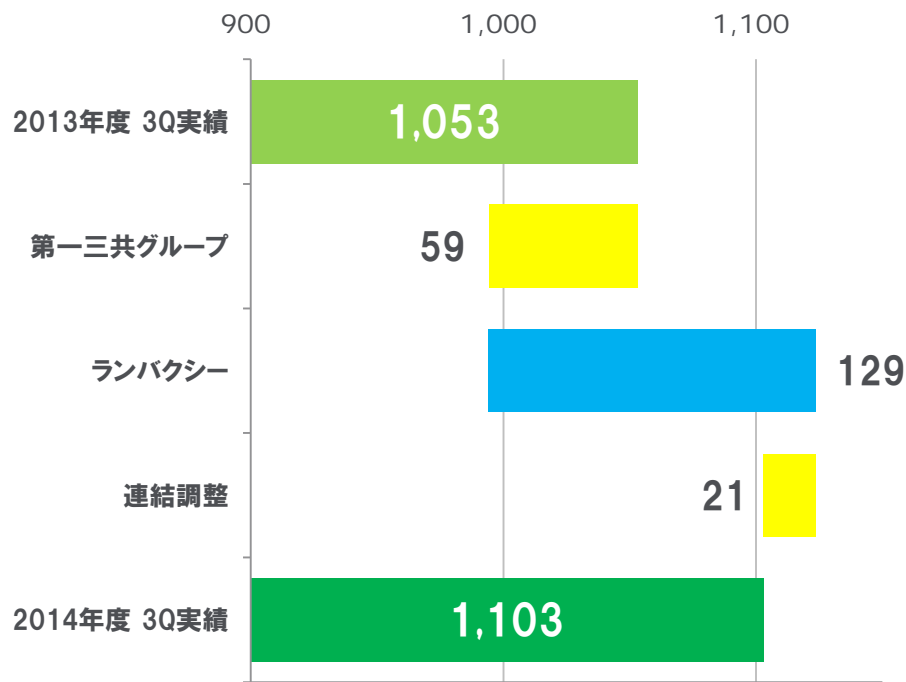
減益要因



国内事業運営体制の最適化に関わる人事関連費用等を計上

連結業績

第一三共グループ



研究開発費 +54 (為替影響 +38)

販売費・一般管理費 +66 (為替影響 +88)

有形固定資産売却益 -34 (※前期は-142)

人事関連費用 +137 (うち研究開発費・販管費 +115)

(※前期は欧州における事業再編損等 +128)

当期利益(親会社帰属)増減 (単位:億円)

増益要因

減益要因



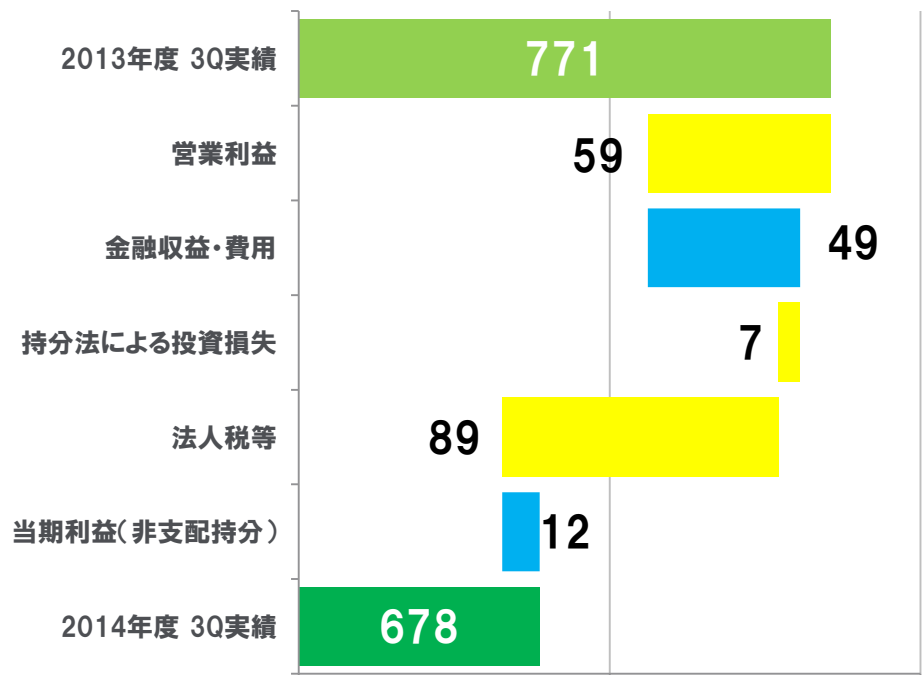
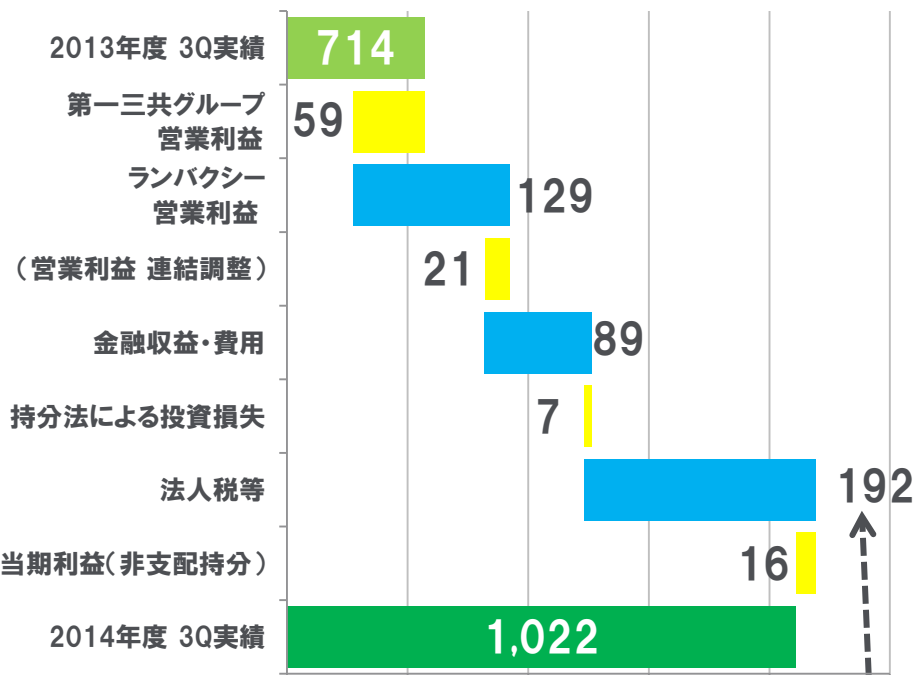
第一三共グループ:営業減益に加え、法人税等が増加

連結業績

第一三共グループ

600 700 800 900 1,000 1,100

600 700 800



ランバクシー
過年度のれん減損に係る税効果を計上

金融収益・費用 +49 為替差益など

法人税等 +89
(※前期はU3ファーマからの資本配当に伴う税金費用減)

国内主要製品 売上推移

(単位:億円)

		2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	増減	年度計画	進捗率
オルメテック	高血圧症治療剤	604	584	-20	790	74%
ネキシウム	抗潰瘍剤 (プロトンポンプ阻害剤)	402	557	+155	670	83%
ロキソニン	消炎鎮痛剤	468	387	-82	480	81%
メマリー	アルツハイマー型 認知症治療剤	239	275	+37	390	71%
クラビット	合成抗菌剤	259	230	-29	270	85%
レザルタス	高血圧症治療剤	141	141	-1	180	78%
アーチスト	高血圧症治療剤	171	141	-30	180	79%
オムニパーク	造影剤	155	133	-22	170	79%
メバロチン	高コレステロール血症 治療剤	170	126	-44	160	79%
イナビル	抗インフルエンザウイルス剤	20	82	+61	130	63%
ランマーク	癌骨転移治療剤	58	76	+18	100	76%
プラリア	骨粗鬆症治療剤	17	51	+34	70	73%

主要ビジネスユニット 売上推移

(単位:億円)

	2013年度 第3四半期	2014年度 第3四半期	増減	年度計画	進捗率
日本カンパニー+ワクチン事業	3,671	3,678	+7	4,800	77%
第一三共ヘルスケア	370	370	-0	480	77%
第一三共 Inc.	1,311	1,262	-49	1,610	78%
オルメサルタン	855	769	-85	980	79%
ウェルコール	327	351	+25	440	80%
エフィエント(共同販促収入)	114	131	+17	-	-
ルイトポルド	278	429	+151	530	81%
ヴェノファー	181	228	+47	260	88%
インジェクタファー	5	51	+45	70	73%
第一三共ヨーロッパ GmbH	637	646	+9	840	77%
オルメサルタン	499	502	+3	660	76%
エフィエント(共同販促収入他)	35	37	+2	-	-
アジア/中南米(ASCA)	419	489	+70	640	76%
ランバクシーグループ	1,329	1,451	+122	-	-

 **日本：第3四半期リクシアナ売上 21億円**

 **米国：2015年1月8日承認取得
2月上旬発売予定（製品名 Savaysa）**

 **欧州：引き続き審査継続中**

**その他地域：韓国・台湾・ブラジルで申請済み
提携先を検討中**

研究開発パイプラインの進捗

2014年度第2四半期決算からの主な変更点

一般名 開発コード	対象疾患・適応症	地域	フェーズ 1	フェーズ2		フェーズ 3	申請	承認
				2a	2b			
エドキサバン	非弁膜症性心房細動患者における脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 (AF)	米					→ ●	
	静脈血栓塞栓症の治療 (VTE)	米					→ ●	
レボフロキサシン (注射剤)	感染症 (効能追加)	日					→ ●	
Quizartinib AC220	急性骨髄性白血病	米・欧					→ ●	★
Mirogabalin DS-5565	<ul style="list-style-type: none"> 糖尿病性末梢神経障害性疼痛 (DPNP) 帯状疱疹後神経痛 (PHN) 	日・亜					→ ●	
CS-3150	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧症 糖尿病性腎症 	日					→ ●	
DS-5573 (抗B7-H3抗体)	固形癌	日	→ ●					★
DS-1501 (抗Siglec-15抗体)	骨粗鬆症	-	→ ●					★

● : ステージアップ
★ : 新規パイプライン

主要研究開発パイプライン

(2015年1月現在)



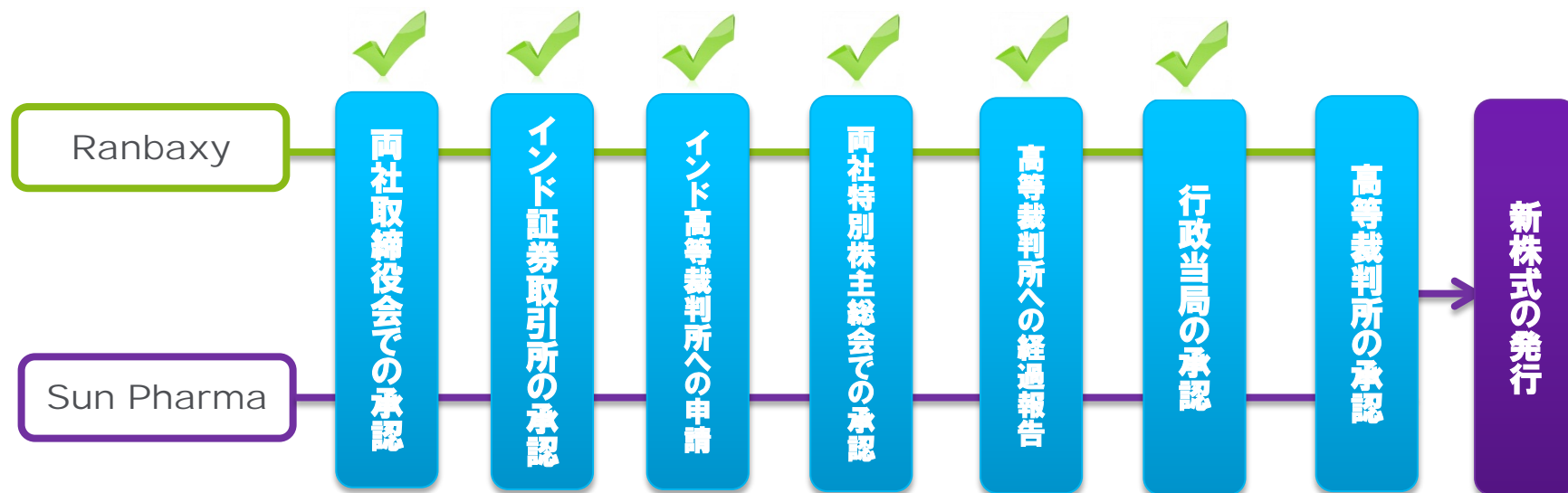
領域	フェーズ 1	フェーズ 2	フェーズ 3	承認申請
循環代謝	<ul style="list-style-type: none"> ■ DS-1040 (急性期虚血性脳血管障害/TAF1a阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-3150 (日) (高血圧症・糖尿病性腎症/MR拮抗薬) ■ DS-8500 (日) (糖尿病/GPR119作動薬) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ プラスグレル (日) (CS-747/虚血性脳血管障害/抗血小板剤) ■ プラスグレル (米) (CS-747/鎌状赤血球/抗血小板剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ エドキサバン (欧他) (DU-176b/AF/経口FXa阻害剤) ■ エドキサバン (欧他) (DU-176b/VTE/経口FXa阻害剤)
癌	<ul style="list-style-type: none"> ■ U3-1565 (米日) (抗HB-EGF抗体) ■ DS-7423 (米日) (PI3K/mTOR阻害剤) ■ DS-3078 (米欧) (mTOR阻害剤) ■ DS-3032 (米日) (MDM2阻害剤) ■ PLX7486 (米) (Fms/Trk阻害剤) ■ DS-8895 (日) (抗EPHA2抗体) ■ DS-8273 (米) (抗DR5抗体) ■ PLX8394 (米) (BRAF阻害剤) ■ DS-6051 (米) (NTRK/ROS1阻害剤) ■ <u>DS-5573 (日)</u> (抗B7-H3抗体) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Patritumab (米欧) (U3-1287/抗HER3抗体) ■ Vemurafenib (米欧) (PLX4032/BRAF阻害剤) ■ PLX3397 (米) (Fms/Kit/Flt3-ITD阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Tivantinib (米欧) (ARQ 197/肝細胞癌/Met阻害剤) ■ デノスマブ (日) (AMG 162/乳癌補助療法/抗RANKL抗体) ■ ニモツズマブ (日) (DE-766/胃癌/抗EGFR抗体) ■ Vemurafenib (米) (PLX4032/メラノーマ術後補助療法/BRAF阻害剤) ■ <u>Quizartinib (米欧)</u> (AC220/急性骨髄性白血病/FLT3阻害剤) 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ PLX5622 (関節リウマチ/FMSキナーゼ阻害剤) ■ DS-1093 (腎性貧血/HIF-PH阻害剤) ■ DS-3801 (慢性便秘/GPR38アゴニスト) ■ DS-1971 (慢性疼痛) ■ <u>DS-1501</u> (骨粗鬆症/抗Siglec-15抗体) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ SUN13837 (米欧) (脊髄損傷/bFGF様細胞分化誘導体) ■ ラニナミビル (米欧) (CS-8958/抗インフルエンザ/ヒオタと導出活動中) ■ Ioforninol (日) (GE-145/X線造影剤/血管造影) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ Mirogabalin (米欧) (DS-5565/線維筋痛症/α2δリガンド) ■ <u>Mirogabalin (日亜)</u> (DS-5565/DPNP/α2δリガンド) ■ <u>Mirogabalin (日亜)</u> (DS-5565/PHN/α2δリガンド) ■ デノスマブ (日) (AMG 162/関節リウマチ/抗RANKL抗体) ■ ヒドロモルフォン (日) (DS-7113/癌性疼痛/μオピオイド受容体作動薬) ■ CHS-0214 (日) (エタネルセプトバイオ後続/関節リウマチ/TNFα阻害剤) ■ CL-108 (米) (急性疼痛/μオピオイド受容体作動薬) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ <u>レボフロキサシン (日)</u> (DR-3355/感染症/ニューキノロン系抗菌剤)

赤字: 2014年度第2四半期決算からの変更点

- ◆ 2014年11月 国内グループ組織体制と全社員の配置見直し、要員適正化を実施
- ◆ 2014年12月 転進支援制度特別措置を実施、国内グループ計513名の社員が応募
- ◆ 2014年度 計137億円の人事関連費用等を計上
- ◆ 2015年4月1日より、新しい組織要員体制へ移行

サン・ファーマ / ランバクシー合併の進捗

- ◆ 2014年4月6日 サン・ファーマによるランバクシーの吸収合併契約の締結
- ◆ ~2014年12月 行政当局による承認
- ◆ 2015年2月2日 高等裁判所によるヒアリング予定 ⇒ 最終承認へ
- ◆ 第一三共は株式交換によりサン・ファーマの株式を約9%保有予定



本資料に関するお問い合わせ先

第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 03-6225-1126 (報道関係者の皆様)

03-6225-1125 (株式市場関係者の皆様)

当社が開示する業績予想、将来予測に関する情報、また研究開発に関する情報等につきましては、将来を見込んだ見解として、開示時点で入手可能な情報に基いた当社の想定を示しております。従いまして、開示した情報は、一定のリスクや不確実性を含んでいること、実際の業績は、当社の見解と異なる可能性があることを、ご留意願います。